

登録コード	E7165400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	越智 康詞
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				個々の人間が他者や社会や他の生命・環境と深く結びついて存在していることについての理解を深め、自らを支える社会や地球環境に責任をもって行動できる（子どもたちに伝えられる）ようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				人間の基本特性（学び、協力、道具の活用）を理解し、子どもの性質や学びの構造への理解を深めるとともに、自ら主体的に問いに向き合い、問題解決を導くことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各学生の卒業論文のテーマに即して指導・助言を与え、執筆を助ける。構想発表、計画、調査の実施、執筆活動、構想発表で相互評価を行う。						
(5)授業計画	ガイダンス 論文の書き方 資料の調べ方 テキストの批判的な読み方 調査の方法 調査の分析 調査結果の記述 論文の構成の検討 論文の内容の検討 論文の内容についてのふりかえり 論文報告会 話し合い 論文のチェック 発表会の準備・授業アンケートの実施 * 教育実習期間を避けて臨機応変に指導を行う。						
(6)成績評価の方法	・ 完成された論文において評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（１）課題設定が適切であり、（２）問題の背景を説明し、（３）問題の構造を適切に捉えられており、（４）解決の方法を示唆し、（５）残された課題も明示されていれば、卓越している。２項目以上できれば水準にある。３項目できていればやや上にある。４項目できていればかなり上にある。試験においては、基本的事項を最低限理解していれば水準にある。応用問題まで理解していればやや上にある。自らの問題意識と結びつけ、自分の考えをも同時に展開していればかなり上にある。自らの問題意識に結びつけ、自らの考えについて説得的に論証できていれば卓越している。						
(8)事前事後学習の内容	問いを持つこと、主体的に活動することが肝要。自らの問題意識にそって、文献購読、調査、執筆をすすめること。						
(9)履修上の注意	主体的な取り組みを求める。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワーの実施場所：N313, 曜日, 時間（在室の時はいつでも）, 授業担当者の連絡先（越智研究室電話番号026-238-4218, メールアドレス：yasushi@shinshu-u.ac.jp）						
【教科書】	特になし。						
【参考文献】	その都度、紹介する。						